



2006 ~ 2007 年度
R I テーマ

LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 鳴海淳郎	理事 後藤 隆	役員 会 長 上妻 浩	S A A 木村きぬ糸
" 村津忠久	" 宮勝美	副会長 森 宗明	直前会長 平野英壽
" 溝部 仁		幹 事 近藤賢司	
" 梅津ヤヨイ		会 計 上妻 浩	

VOL . 19 - 42
2007 年 5 月 22 日

第 867 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

R S 我等の生業

唱 歌 夏は来ぬ

B . G . M 愛よ永遠に
朝もやの宿
リストの愛の夢

出席報告

高宮 勝美

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	4 名
	出 席 率	60.87 %
	出 席 率	73.91 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
5/8	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	73.91 %

連 続 - 回
通 算 - 回 100 %

・メイクアップ

事前 村津、梅津、木村、津末 (日出)
事後
欠席 平野、椋田、河村、溝部

会長の時間

会長 上妻 浩

ロータリーのコーラスの全国大会が、今年は札幌で6月2日(土)に開催されることになり、約30年振りに北海道に行ってきます。前後を合わせますと、ほぼ丸3日間かかりますので、大変ですが、久しぶりの北海道は楽しみでもあります。別府地区は男声コーラス「ロータリーコール」、女声コーラス「ロータリーフラウエン」、2チームとも例年どおり参加します。ロータリーコールは「千の風になって」と「野風増」の2曲を歌う予定ですが、「千の風になって」の方は情報によると、少なくとも4チームは歌うそうで、格段に見劣りすることのないように、最後の追い込みをかけたいと思っています。

幹事報告

幹事 近藤 賢司

- 本日の卓話
『世界の中の日本人とジョーク』
近藤賢司会員
- お祝い
配偶者誕生日 後藤 隆 潤子さん (5月23日)
* 記念品をお渡し致します。
平野 和子さん (5月27日)
* ご自宅にお花が届きます。



3. 例会変更のお知らせ

湯布院RC 5月30日(水)の例会は、友愛例会の為、5月27日(日)18:30~日時・場所変更(場所未定)

日出RC 6月5日(火)の例会は、社会奉仕作業の為、6月3日(日)9:00~大田公園へ日時・葉所変更

4. 次週の予定(*原稿をお願い致します。)

「会員卓話」高宮勝美会員

「会員コラム」高田由子会員

5. 本日の回覧

宇佐RC 週報

「サッカー観戦例会」出・欠席

「第4回(新・旧)クラブ協議会」出・欠席

「会長・幹事慰労会」出・欠席

6. 本日の配布

週報866号

『Think Global, Act Local』

鳴海淳郎R情報委員長より

後藤隆)会員

トキ八の駐車場で400ccの献血をして来ました。終わったあとで看板にライオンズクラブと書いてあるのに気がつきました。200ccにしとけば良かった!

衛藤会員

暑くなりましたね。今日はお休みの方が多いですね。近藤会員の卓話、楽しみにしています。赤嶺会員

遅刻して申し訳ありません。お詫びしてスマイル。

高宮会員

本日、当期の決算確定数字を例会出席直前に税理士さんが届けてくれました。厳しい経営環境の中、14年連続売上増、14年連続黒字決算でした。

高田会員

先日、全国大学生相撲大会で甥が優勝しました。甥は体が人に比べて小さいのですが、技巧派らしく頑張り屋です。すごく先が楽しみです。徳丸会員

本日は所用のため早く退出致します。

後藤(孝)会員

近藤会員、卓話楽しみです。頑張ってください。

スマイルボックス 委員長 後藤 孝弘

上妻会長

近藤幹事、今日のピンチヒッターよりな卓話よろしくお願ひします。

近藤会員

今日は卓話が私の番で、スマイルを書く余裕がありません。この余裕のない顔にスマイル。森会員

長年耳鳴りの持病に難儀をしていたのですが、先日、突発性難聴になり、またまた困っています。改めてどこも悪くないと言うことはすごい事なのだと思います。もう一度健康について考えてみようと思っています。親からもらった大事な身体、粗末にはパチが当たります。

大島会員

今日はすばらしいお天気です。このお天気にふさわしい近藤会員の卓話を楽しみにしています。と言うことですが、1時半までに宿へ帰らなければなりませんので10分までに帰らせていただきます。近藤幹事「ごめんなさい!」

村津会員

今日は別府市食品衛生協同組合の総会で、監査報告の役にある為、ホームクラブ欠席です。お詫びしてスマイル。

卓話

近藤 賢司

世界の中の日本人とジョーク

人は一人ではいきられない動物。いろいろな人と接し、ふれあい助け合って生きている。まわりの人が自分のことをどのように考えているか気になります。

ベトナムからの留学生で米山奨学生でもあるフィン・フォン・ミンさんに、各国から来た留学生が日本に来る前に持っていた日本のイメージを聞いてもらいました。



留学生の来日前の日本のイメージ
インドネシア(APU3年)

日本は漫画の世界のようにドラえもんとのびちゃんのような人が住んでいるところだと思いました。日本人は勤勉で、規律正しくて、礼儀正しいと思いました。

イタリア(APU4年)

日本はアジアで一番現代的な国だと思いました。しかし、国の伝統的な文化の魅力をきちんと守っているのは珍しいです。つまり、現代的と伝統的な国というイメージを持っていました。日本は規律正しく豊かな国だと思いました。

ベトナム(APU3年)



国民の皆さんは規則に従うので、日本は安全な国だとも思いました。日本は芸者、さむらいの国だとも思いました。前から日本の歴史、文化に興味を持っています。

インド (APU 3年)

日本は勤勉な社会というイメージを持っています。または、平和を重んじる国でハイテクの国だとも思いました。

エチオピア (APU 3年)

日本の学生さんは頭がよくて、勤勉ということを知りました。日本はハイテクの国なので、現代的な社会だというイメージを持っています。日本は世界で唯一の国だとも思いました。

モンゴル (APU 3年)

日本と言えば、着物やさむらいなどを思いました。日本人は平和を高く評価して、幸せな生活を送っていると思いました。

東ヨーロッパのルーマニアの教科書には「日本は資源がなく国土も小さいが、人々は優秀で勤勉であり、それにより世界で2番目の強国となった。」と書かれているそうです。でもヨーロッパで日本人を見ると多くの場合、「ニハオ」と声を掛けられるようです。これは私達がイタリア人を見てハローとかサンキューと言うのと同じで区別がつかないので、東洋で一番有名な中国のことで語りかけられたのだと思います。これは歴史と伝統の差で、永い歴史の中、中国には及ばないものが多いようです。

ではその中国は日本をどのように見ているでしょう。現代の中国では残念なことにまだ本当の日本を知っているのはごく一部の人間であり、その知日派の学生にしても日本に対する批判は当然あるのですが、彼等は日本語を学び、日本人と付き合い合っていく中で日本のことを理解してだんだん好きになっていく人達であります。中国で日本語を学んでいる学生は1万人いると言われ、その6割は日本に親しみを持っているそうです。これは中国の一般的な青年の9割が日本に否定的な感情を抱いているのとは大変な違いだと思います。以下の文章は、大半の中国人の考え方だと、北京生まれの早稲田大学の助教授が書いた本の一部です。

中国では、現代の国際関係を論じたシリーズが売れているが、そのうちの一冊に「日本=罪を認めたくない国家」というタイトルがついている。

この本の最大のねらいは、日本の「歴史認識」を批判することである。著者についての詳しい情報は無いが、「前書き」の最後に、「南京政治学院」とあるので、大学に籍を置く研究者であろう。

冒頭で、著者は「日本は過去の歴史を繰り返そうとしている。これが日本の現実である」と述べている。過去の歴史とは、つまり「60年前、中国とアジアに対する侵略と、これらの国々の人民を奴隷化し、虐殺した歴史」である。著者は、「日本という身体はもはや健康的なものではなく、治れない重病に罹っている」と断定し、その病因について、「偏狭な民族心理」と指摘している。

著者によると、日本は自らを「日出処天子」と称して、天地の間で最初に生まれた国と思い込んでいる。このような思想は、まさしく自己中心的な日本人の国民性を言い表しているという。また、狭い島国も日本人の「偏狭な民族心理」形成の要因とされた。ところが、日本人は一旦世界の広さを知ると、「持てる国と持たざる国」という心理が生まれ、暴力で他人のものを奪おうとした。

そして、近隣の朝鮮と中国がその最初の被害者となったというのである。

著者によると、中国唐代の文化は、日本の進歩と発展を促した。また、第二次世界大戦において日本は、アメリカだけではなく、中国にも負けた。しかし、日本はこれらの事実を認めようとはせず、いまだに日本文明を世界のどの文明とも違う、もっとも優秀な文明と自画自賛する。日本が近代以来侵略し、蹂躪した土地は、日本文明を育てた中国の大地ではないが、と著者は一般の中国人が持っている主張を代弁した。日本には漢字をただで使わせてやっている、くらいにしにしか認識していない。

この本で述べられた日本観は、平均的な中国人の日本に対する見方といってもよい。もっとも象徴的な部分を紹介しておこう。

「経済大国を実現した日本は、『政治大国』を目指している。『ノー』と言える日本』は著者個人の観点ではなく、それは全日本民族の思いである。アメリカとアジアに『ノー』と言うことによって、第二次世界大戦における失敗の影から逃げ出すことができる。日本は政治、経済、文化交流の各分野で『ノー』を言うようになった。これは日本人の大国意識と侵略の歴史を認めない決意を表明したものの以外の何ものでもない。」

「哀れな日本！国際社会の重大な決定に日本は参加できない。しかし、安全保障理事会の決定にしたがって重大な責任を負わなければならない。そこで、日本は、国際政治のなかで、発言権を手に入れるために、国連安全保障理事会の常任理事国にならなければならないと考え、安全保障理事会への日本の進軍が始まった。」

「さまざまな制限が設けられたとはいえ、PKO法案は、日本国憲法の拘束を破り、日本の自衛隊は堂々と世界へ繰り出すことが出来るようになった。これは重要な一歩である。世界に通用する軍事力がなければ、政治大国も有名無実である。PKO法案は、日本の政治大国化への道に残された記念碑である。」

「日本は経済大国である。1987年から、毎年軍事予算は憲法所定の1%の枠を超えた(原文のまま)。1990年に300億ドルに達し、1994年には460億ドルを超えた。今日本は、アメリカに次ぐ世界第二の軍事大国である。」

「日本が北京で展示会を開催したとき、日の丸を印刷した広告が貼り出されると、一夜の内に剥がされてしまった。これは長期にわたって日本軍国主義の侵略を受けた中国国民の当たり前の行動である。彼らは感情的に日本の国旗を受け入れることはできない。日本の経済拡張は、日本軍国主義者がこの日章旗のもとで中国を侵略した罪悪を重い出させる。殺害された家族、略奪された財産を思い出させる。今、日本人は再び日の丸を掲げて中国へやってきた。彼らは何をしにきたのだろうか。日本政府が宣伝しているように、中国の経済発展を援助し、中国の近代化に協力してきたのだろうか。それとも彼らの先輩が成し遂げることができなかった『大東亜共栄圏』の夢を実現するために来たのだろうか。日本人はどうしてかつて長く日本占領下におかれた東北地方と山東半島および日本の勢力範囲となった福建省に特別な関心を示しているのだろうか。」

「日本製の『皇冠』(クラウン)、『藍鳥』(ブルーバード)などの車が中国の道路に溢れているが、専門家は一目でわかる。これらの車は中国のために『特製』したものである。日本人は時代遅れの



部品を使って中国のためにこれらの車を組み立てた。その性能は欧米向けの輸出車とは雲泥の差である。……日本では、『一流製品を欧米へ輸出し、二流製品は自分で使用し、三流製品を中国に売り込む』というのは、もはや公然と秘密である。」

この著書は数人の執筆者による合作であり、見方にも若干の違いが見られるが、その基調は中国の民族主義を煽る内容であった。以上紹介した文章には、事実誤認や誤解も多く含まれている。典型的な「非知日派」の発言といえよう。

実際、このように日本を批判する本はよく売れているようです。だから、記憶の新しいところで、ちょっと火がつくと大使館や日本料理店が壊されたりするわけです。それでは世界は中国を含め日本をどのように見ているのか、ジョークの世界で見てみましょう。

ある酔狂なアラブの大富豪が言いました。「もしも私に青いキリンを見せてくれたら莫大な賞金を出そう！」それを聞いたそれぞれの国の人達はこんな行動をとった。

イギリス人はそんな生物が本当に存在するのか、会議を開き討論を始めた。
アメリカ人は軍隊を世界中に出動させ、青いキリンを探し廻った。
日本人は昼夜を問わず品種改良を重ねて、本当に青いキリンを作った。
中国人はというと、ただちに青いペンキを買いに行った。

次にハイテクな国、日本を象徴するジョークです。
アメリカ人、日本人、ロシア人の3人が一緒にサウナに入っていた。すると突然どこからか、「ピッピッピッ」という音が聞こえて来た。やがて、アメリカ人が右の肘あたりを軽く押すと、その音は止まった。他の二人が怪訝そうな顔をしてアメリカ人の顔を覗き込むと、アメリカ人はこう言った。「これはポケベルなんだ。肘の皮膚の下に極薄の最新チップが埋め込んであるのさ。」それから数分後、今度は、「ブルルル、ブルルル」という音が聞こえてきた。やがて、日本人が手の平を耳に当てて話し始めた。他の二人がさらにビックリして日本人の顔を覗き込むと、日本人はこう言った。「これは電話なんです。手に世界一小さなチップが埋め込んであるんですよ。」するとロシア人は自分が何も持っていないことが悔しくてならなかった。やがて、彼は何かを思いついたらしく、サウナを出てトイレに入っていった。しばらくして、ロシア人はサウナに戻ってきた。しかし、彼の尻にはトイレトペーパーの切れ端がぶら下がっているのではないか。アメリカ人と日本人はビックリしてロシア人の顔を覗き込むとロシア人は言った。「おお、私の尻がファックスを受信したみたいだ」

・四段階

新製品が世界に流通するまでには、全部で四つの段階がある。まず、アメリカの企業が新製品の開発をする。次にロシア人が「自分たちは同じ物を、もうすでに30年前に考え出していた」と口で言う。そして、日本人がアメリカ製以上のクオリティのものを造り、輸出し始める。最後に、中国人が日本製のものにそっくりの偽物を造る。

・レストランにて

ドイツ人と日本人とイタリア人が一緒に食事へ行った。食後、三人はそれぞれこう考えていた。ドイツ人は、割り勘にするといくらか考えていた。日本人は、三人分払うといくらか考えていた。イタリア人は、おごってくれた人になんと礼を言うか考えていた。

・浮気現場にて

会社からいつもより少し早めに帰宅すると、裸の妻が見知らぬ男とベッドの上で抱き合っていた。こんな場合、各国の人々はいったいどうするだろうか？アメリカ人は、すぐにピストルを持ってきて男を射殺した。ドイツ人は、男にしかるべき法的措置をとらせてもらおうと言った。フランス人は、自分も服を脱ぎ始めた。日本人？彼は、正式に紹介されるまで名刺を手にして待っていた。

・スープに蠅が入っていたら？

レストランで出てきたスープに蠅が入っていた時の各国の人々の反応。

ドイツ人...「このスープは熱いので十分に殺菌されている」と冷静に考え、蠅をスプーンで取り出してからスープを飲む。

ロシア人...酔っぱらっていて蠅が入っていることに気がつかない。

アメリカ人...ボーイを呼び、コックを呼び、支配人を呼び、あげくに裁判沙汰となる。

アイルランド人...取り出した蠅を片手で掴みながら、こう蠅に叫ぶ。「吐き出せ、吐き出せよ、ちくしょう！」

日本人...周りを見回し、自分だけに蠅が入っているのを確認してから、そっとボーイを呼びつける。(私もきつとそうする。)

最後にアメリカの一番有名なジョークを紹介して終わりたいと思います。

ヒラリー夫人が、クリントン大統領の運転する車で故郷を訪れたとき、給油のためガソリンスタンドに立ち寄った。

ガソリンスタンドのおやじは、夫人の昔のボーイフレンドであった。夫人は車から降りて、おやじと抱き合って再会を喜んだ。

ガソリンスタンドを離れてしばらく走ったところで、大統領が夫人に言った。

「君があのお男と結婚していたら、今頃は給油の手伝いをしているだろう、俺と結婚してよかったな」

「すぐ、夫人が応じた。
「貴方はなにも分かっていないのね。私があのお男と結婚していたら、アメリカの大統領はあのお男になっていたわ。」

会員コラム

大島由美子

おすし屋さんでお茶のことを『あがり』といいますが、昔、芸者さんにお客がつかない時お茶の葉を白で挽かせたことから、水商売ではお茶は禁句になり、そのためお茶のことを出花（最初に出すお茶）、上がり花（最後に出すお茶）と呼ぶよ

うになり、それが、次第に上がり花の花が取れて『あがり』と呼ぶようになったそうです。

今回は、高田由子会員です。